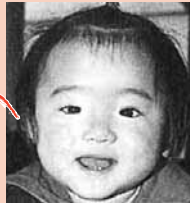


20歳になりました

本紙の赤ちゃん紹介コーナー「1歳になりました」は、昭和63年8月にスタートし、これまで約4,200人の子供たちを掲載してきました。ここでは、新成人3人を当時の写真と合わせてご紹介します。

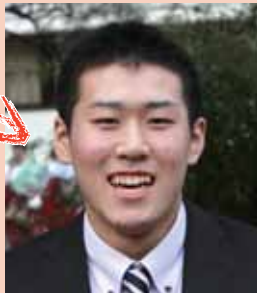


大森侑李愛さん
(豊間根出身)

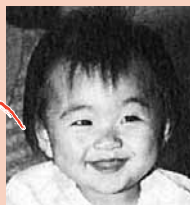
成人になるまで支えてくれたたくさんの方々に感謝しています。現在は埼玉県で介護の仕事をしていますが、いずれは看護も目指してたくさんの人に関わっていけたらいいな、と思っています。



横田恭一さん
(境田町出身)



あっという間に20歳になり、びっくりしています。宮古市のごみ焼却施設で働いていますが、今後は社会人として仕事もプライベートも充実した日々を過ごせるよう努力していきたいです。



田畑有望さん
(田の浜出身)

成人式を迎えたことで20歳の「責任」という実感がわいてきました。神奈川県の会社でIT関係の事務をして2年になりますが、山田町のたくさんの自然が大好きで、いつも恋しくなります。

平成26年町成人式



気持ち引き締め新たな門出

1月12日、平成26年の町成人式が町中央公民館大ホールで開かれ、新成人150人が参加しました。主催者を代表して佐藤信逸町長が「皆さんがこれまでの人生、そして震災で学んだことを胸に、大きく成長していくことを期待します」とあいさつ。その後、武藤美貴さん(山田)が力強く町民憲章を読み上げました。

昆暉雄町議会議長と勝山君雄町選挙管理委員長の祝辞に続き、新成人を代表して及川智弘さん(船越)が、「震災当時、国内のみならず、世界中の方々の支援で一步を踏み出すことができました。どんな道を進んでも、山田町の復興や社会に貢献していくことを誓います」と『二十歳の決意』を述べました。



及川智弘さんによる二十歳の決意



町民憲章を読み上げる
武藤美貴さん